

ネイティブ セルモナス属グリセロール脱水素酵素

Cat. No. NATE-0283

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	グリセロール脱水素酵素は、NAD ⁺ を利用してグリセロールの酸化を触媒し、グリセオン（ジヒドロキシアセトン）を形成する酸化還元酵素ファミリーの酵素です。
用途	この酵素は、臨床分析においてリポ蛋白質リパーゼと結合することで、グリセロールおよびトリグリセリドの酵素的測定に役立ちます。グリセロールとNAD ⁺ の反応からNADHの生成は、グリセロール脱水素酵素によって触媒されました。
別名	EC 1.1.1.6; NAD ⁺ 結合グリセロール脱水素酵素; グリセロール:NAD ⁺ 2-酸化還元酵素; GDH; GIDH; GlyDH; 9028-14-2; グリセリン脱水素酵素

製品情報

由来	セルモナス属
形態	牛血清アルブミンを含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 1.1.1.6
CAS登録番号	9028-14-2
分子量	mol wt ~390 kDa
活性	50-125 ユニット/mg タンパク質
等電点	4.4 ± 0.1
pH安定性	pH 7.5 - 10.5 (25°C, 20時間)
最適pH	10.0 - 10.5
熱安定性	55°C未満 (pH 7.5、15分)
最適温度	50°C
ミカエリス定数	1.1 × 10 ⁻² M (グリセロール), 8.9 × 10 ⁻⁵ M (NAD ⁺)
構造	酵素1モルあたり10サブユニット (42 kDa)
阻害剤	p-クロロ水銀ベンゾエート、o-フェナントロリン、モノヨードアセテート、重金属イオン (Co ⁺⁺ 、Ni ⁺⁺ 、Cu ⁺⁺ 、Zn ⁺⁺ 、Cd ⁺⁺)
単位定義	1ユニットは、25°C、pH 10.0で1分あたり1.0μモルのグリセロールをジヒドロキシアセトンに酸化します。

保管・発送情報

保存方法	-20°C
------	-------